

○九州地方の地震活動

2024/01/01 00:00 ~ 2024/12/31 24:00

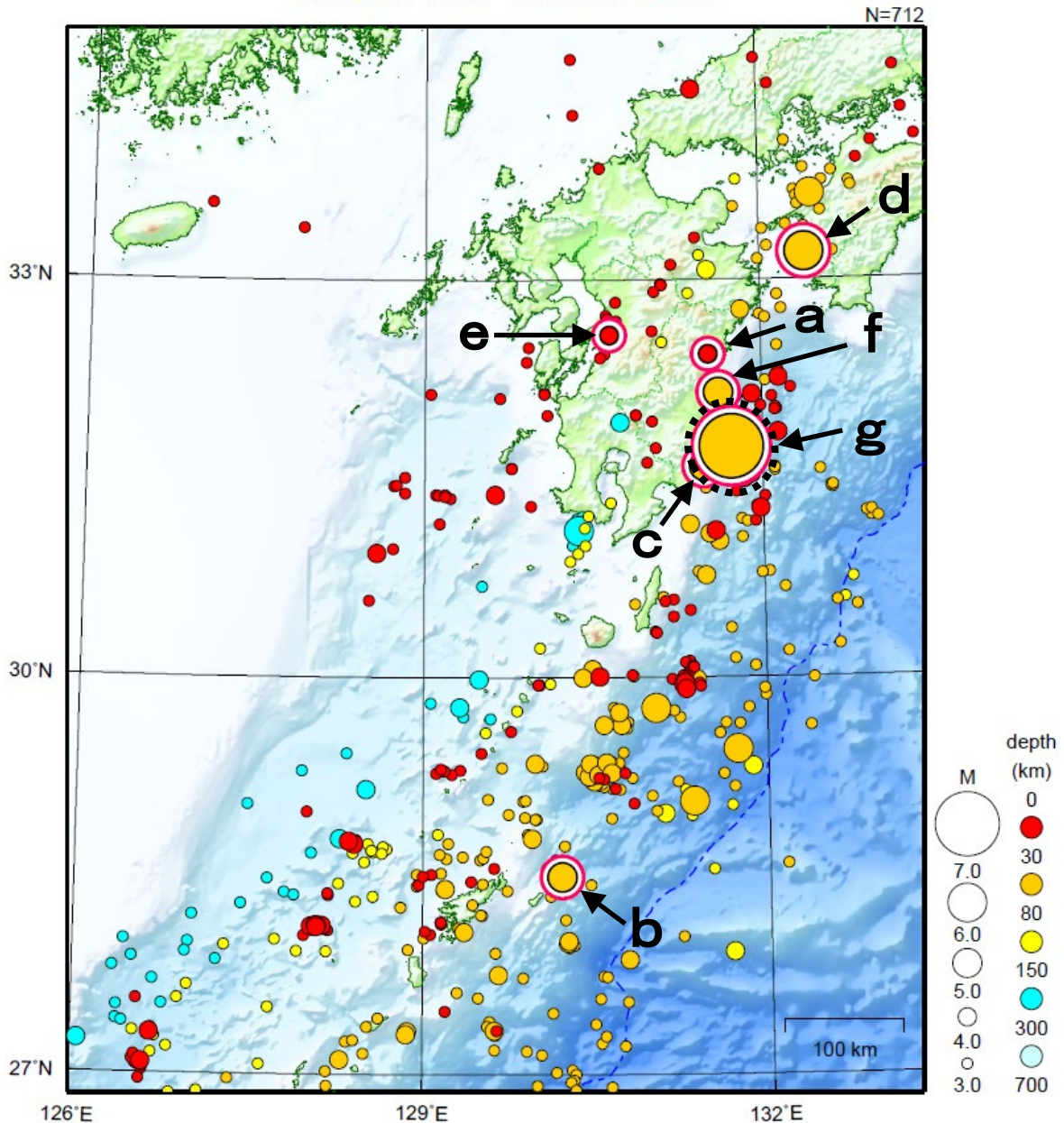


図9 九州地方の震央分布図（2024年1月1日～12月31日、 $M \geq 3.0$ ）

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

〔概況〕

2024年に九州地方で震度4以上を観測した地震は7回（2023年は9回）であった。

2024年中の主な活動は次のとおりである。

- a 3月2日 23時00分に宮崎県北部平野部の深さ13kmでM4.3の地震が発生し、宮崎県延岡市及び門川町で震度4を観測したほか、九州地方及び四国地方で震度3～1を観測した。この地震は地殻内で発生した。
- b 3月15日 19時32分に奄美大島近海の深さ19km（CMT解による）でM5.6の地震が発生し、鹿児島県奄美市及び喜界町で震度4を観測したほか、鹿児島県及び宮崎県で震度3～1を観測した。
- c 4月8日 10時25分到大隅半島東方沖の深さ39kmでM5.1の地震が発生し、宮崎県日南市で震度5弱を観測したほか、九州地方で震度4～1を観測した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。

- d 4月17日23時14分に豊後水道の深さ39kmでM6.6の地震が発生し、愛媛県愛南町及び高知県宿毛市で震度6弱を観測したほか、九州地方から中部地方にかけて及び伊豆諸島で震度5強～1を観測した。この地震により、高知県西部で長周期地震動階級2を観測したほか、四国地方、九州地方及び鳥取県西部で長周期地震動階級1を観測した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。この地震により、重傷2人、軽傷14人、住家一部破損361棟の被害が生じた（2024年11月21日13時00分現在、総務省消防庁による）。九州地方では、この地震により大分県津久見市及び佐伯市で震度5弱を観測したほか、熊本県、大分県、宮崎県及び鹿児島県で震度4を観測した。
- e 5月31日04時46分に熊本県熊本地方の深さ13kmでM4.7の地震が発生し、熊本県及び鹿児島県で震度4を観測したほか、九州地方及び山口県で震度3～1を観測した。この地震は地殻内で発生した。
- f 7月30日01時25分に日向灘の深さ48kmでM5.1の地震が発生し、宮崎県宮崎市、西都市及び高千穂町で震度4を観測したほか、九州地方、中国地方及び四国地方で震度3～1を観測した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。
- g 8月8日16時42分に、日向灘の深さ31kmでM7.1の地震が発生し、宮崎県日南市で震度6弱を観測したほか、東海地方から奄美群島にかけて震度5強～1を観測した。この地震により、宮崎県南部山沿いで長周期地震動階級3を観測したほか、九州地方及び鳥取県西部で長周期地震動階級2～1を観測した。この地震により、宮崎県の宮崎港^(注1)で51cm、日南市油津で40cmの津波を観測するなど、千葉県から鹿児島県にかけて津波を観測した。気象庁では、8日17時00分にこの地震が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始したことをお知らせする南海トラフ地震臨時情報（調査中）を公表し、8日17時30分から南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会を臨時に開催し、この地震と南海トラフ地震との関連性について検討を行った。その結果、この地震の発生に伴って、南海トラフ地震の想定震源域では、大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっていると考えられたことから、8日19時15分に南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を公表した。この地震により、重傷3人、軽傷13人、住家全壊1棟、半壊1棟、一部破損81棟などの被害が生じた（2024年11月21日13時00

分現在、総務省消防庁による）。この地震の震源付近では、8月8日から12月31日までに震度1以上を観測した地震が39回（震度6弱：1回、震度3：6回、震度2：7回、震度1：25回）発生した。

（図の範囲外）

1月1日16時10分に石川県能登地方の深さ16kmでM7.6の地震が発生し、石川県輪島市及び志賀町で震度7を観測したほか、北陸地方を中心に北海道から九州地方にかけて震度6強～1を観測した。この地震により、石川県能登で長周期地震動階級4を観測したほか、北陸地方を中心に東北地方から中国・四国地方にかけて長周期地震動階級3～1を観測した。この地震により、石川県の金沢^(注1)で80cm、山形県の酒田^(注2)で0.8mの津波を観測するなど、北海道から九州地方にかけて、日本海沿岸を中心に広い範囲で津波を観測した。この地震は地殻内で発生した。

九州地方では、長崎県の対馬比田勝で32cm、佐賀県の玄海町仮屋^(注4)で20cmなど、山口県、福岡県、佐賀県及び長崎県で津波を観測した。

2024年1月1日以降の一連の地震活動により、死者489人などの被害が生じた（2024年12月24日14時00分現在、総務省消防庁による）^(注3)。

9月24日08時14分に鳥島近海の深さ10km（CMT解による）でM5.8の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生した。この地震により、東京都の八丈島八重根^(注2)で0.7mなど、伊豆諸島及び千葉県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。この地震はフィリピン海プレート内で発生した。

九州地方では、鹿児島県の中之島^(注5)で13cm、奄美市小湊で5cmの津波を観測した。

（注1）国土交通省港湾局の観測施設である。

（注2）巨大津波観測計による観測のため、観測単位は0.1m。

（注3）2024年11月26日22時47分の石川県西方沖の地震（M6.6）による被害を除く。2024年11月26日22時47分の地震では軽傷1人の被害が生じた（2024年11月27日現在、石川県による）。

（注4）国土地理院の観測施設である。

（注5）海上保安庁の観測施設である。